No. 5
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
（令和7年度　第1回）

令和7年度　第1回事業評価監視委員会　一括審議案件一覧（事業進捗等に大きな変更がない事業）

事業名 （箇所名）	実施箇所	事業期間等 上段： 前回 評価時 下段： 現時点	総事業費 （億円） 上段： 前回 評価時 下段： 現時点	事業概要	事業を巡る 社会経済情勢等 の変化	主な事業の 進捗状況	主な事業の進捗 の見込み	コスト縮減や 代替案等 の可能性	事業の投資効率性		都道府県・政令市等 の意見	対応方針 （原案）
									【事業全体】	【残事業】		
九頭竜川上流 ダム再生事業	福井県大野市	R1年度～R14年度 R1年度～R14年度 （±0%）	310 310 （±0%）	九頭竜川における既設ダムの有効活用（利水・治水等の貯水容量の見直しや操作方法の見直しなど）により治水機能の向上を図る。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。	進捗率 （事業費） 約3%	令和2年度より実施計画調査に着手したが、令和5年12月に変更した河川整備基本方針を踏まえた効果検証等を行っていく。	「ダムの有効活用による案」「遊水地等による案」、「引堤による案」の内、最も有利な「ダムの有効活用による案」を採用している。今後は、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していく。	総便益Ｂ ：1,569億円 総費用Ｃ ：212億円 Ｂ／Ｃ＝7.4	総便益Ｂ ：1,571億円 総費用Ｃ ：203億円 Ｂ／Ｃ＝7.7	【福井県知事】 九頭竜川上流ダム再生事業の対応方針(原案)「事業継続」について異存ありません。 本事業は、近年の激甚化する豪雨等による洪水から福井市をはじめとする九頭竜川流域を守るために重要な事業である。 今後も引き続き、当県と十分な調整をしていただくとともに、早期の建設事業着手をお願いしたい。	事業継続